

# 薬学部アドミッションポリシー

## (入学者受入方針)

昭和大学薬学部は「至誠一貫」の精神のもと、薬学を通して医療の発展と国民の健康増進と福祉に真心をもって寄与する優れた人材を育成することを目的としています。昭和大学薬学部のカリキュラムを修得し、卒業時に求められる能力を達成できる学生として、日々の学修と多様な経験の中から以下の能力を身に付けている人を求めます。

1. 薬剤師となる明確な目的意識を有する人
2. 本学に対する明確な志望動機を有する人
3. 中等教育の学業において、数学や理科(物理、化学、生物)などの自然科学と英語の基礎知識を持ち、国語、社会も幅広く履修した人
4. 他者を理解し、思いやりの心を持てる人
5. 人とかかわることに関心を持ち、基本的なコミュニケーション能力を有する人
6. 知的好奇心にあふれ、新しい分野に積極的に挑戦できる人
7. 1年次の全寮制共同生活・学修に積極的に取り組める人

上記の人を選抜するために次のような入学試験を実施します。

### 【推薦入試】

1. 基礎学力試験により、英語、数学、化学の基礎的な学力を有するか判定します。
2. 小論文試験により、科学的思考力、良好な倫理観、課題に対する理解力及び自身の考えを明確な文章で表現する力などを評価します。
3. 面接試験により、薬学に対する勉学意欲、豊かな人間性、本学に対する明確な志望動機、社会に向き合う態度、基本的なコミュニケーション能力などを評価します。
4. さらに調査書及び願書から推測される日常活動を考慮して、総合的に判定します。

### 【一般選抜入試(I・II期)】

1. 学力試験により、英語、数学、化学について基本となる学力を十分に有するか判定します。
2. 面接試験により、薬学に対する勉学意欲、豊かな人間性、本学に対する明確な志望動機、社会に向き合う態度、基本的なコミュニケーション能力などを評価します。
3. さらに調査書及び願書から推測される日常活動を考慮して、総合的に判定します。

### 【医学部一般選抜入試（Ⅰ期）利用の薬学部併願入試】

1. 一次試験は高等学校学習指導要領に則り、基本的・標準的問題を中核として、基礎学力と応用力を測る問題を含め、医学・生命に関連する問題など幅広い分野から出題します。その結果、英語、数学、理科(物理、化学、生物から二科目選択)の得点総計(400点満点)が一定水準以上の人を一次試験合格とします。

2. 二次試験は小論文と面接試験により行います。

●小論文：社会的関心事、医療の関心事についての問題提起を行い、これに対する受験者の考え方を問う問題です。科学の基礎知識や高い倫理感、問題文の読解力、および自分の考えを明解な分かりやすい文章とする表現力を評価します。

●面接試験：本学で医療を学ぶにあたっての動機や意欲のほか、社会に向き合う態度、基本的なコミュニケーション能力、医療に対する熱意と情熱、個性や才能を評価します。

その結果、一次試験合格者の中から、二次試験科目である小論文試験、面接試験を重視し、さらに調査書および願書から推測される日常活動を考慮して総合的に判定します。

### 【大学入試センター試験利用入試（A方式：センター利用）】

1. 大学入試センター試験の結果をもとに、英語、数学、理科について基本となる学力を十分に有するか判定します。
2. 面接試験により、薬学に対する勉学意欲、豊かな人間性、本学に対する明確な志望動機、社会に向き合う態度、基本的なコミュニケーション能力などを評価します。
3. さらに調査書及び願書から推測される日常活動を考慮して、総合的に判定します。

### 【大学入試センター試験利用入試（B方式：地域別選抜）】

1. 一次試験は学力試験により行います。大学入試センター試験の結果をもとに、英語、国語、数学・理科について基本となる学力を十分に有するか判定します。
2. 二次試験は一次試験合格者を対象に小論文試験と面接試験を行います。小論文試験により、科学的思考力、良好な倫理観、課題に対する理解力及び自身の考えを明確な文章で表現する力などを評価します。面接試験により、薬学に対する勉学意欲、豊かな人間性、本学に対する明確な志望動機、社会に向き合う態度、基本的なコミュニケーション能力などを評価します。さらに調査書及び願書から推測される日常活動を考慮して、総合的に判定します。